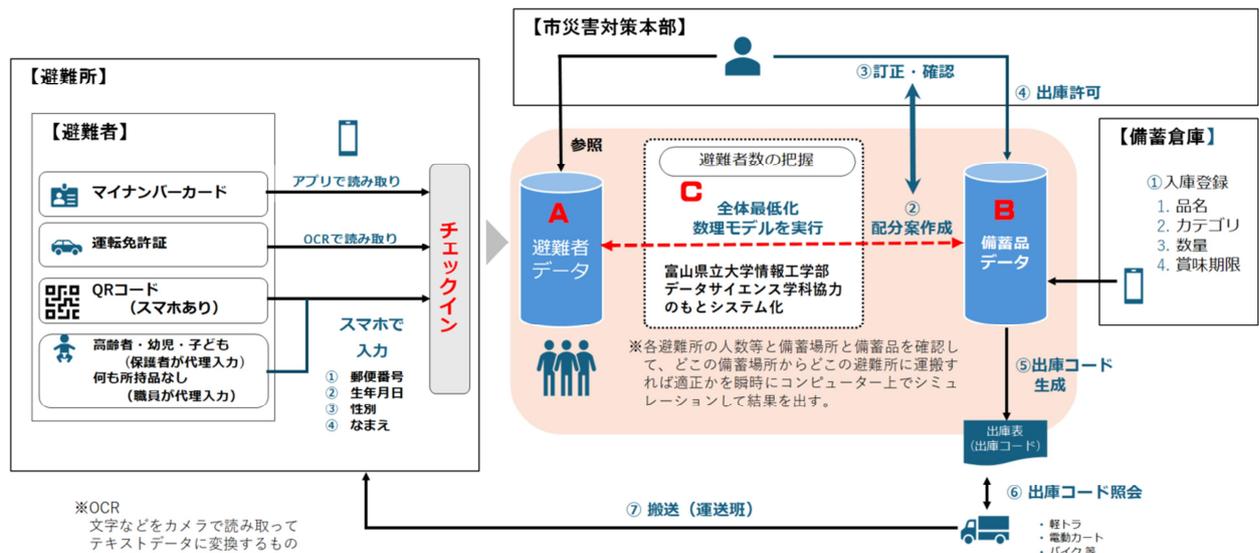


その他 「災害時における避難者の情報管理」及び「災害備蓄品管理」の解決を図る実証実験を実施します

「Digi-PoC TOYAMA (デジポックとやま) ※」にて、本市から提出し、採択された課題「災害時における避難者の情報管理」及び「災害備蓄品管理」の解決を図るシステム構築に向け、民間事業者(射水ケーブルネットワーク株式会社)が、本市を実証フィールド(模擬避難所)として実証実験を行います。

※県が実施している、地域課題をデジタルソリューションで解決する提案を民間事業者から募集し実証実験を行う事業

- 1 内容** 模擬避難所にて、避難者(職員)の受付をスマートフォンを使用して行い、それに応じた備蓄品の配分・配送計画がスムーズにできるかを検証する。
- 15:00～ システム説明(Digi-PoCの説明、地域課題とシステム説明、質疑応答)
- 16:00～ 実証実験(模擬避難所:チェックイン、備蓄品配分、チェックアウト)



- 2 日時** 1月20日(月) 15:00～17:15
- 3 場所** 市庁舎3階 304会議室(システム説明)
302、303会議室(実証実験)

4 実証実験の体制

【実施主体】 射水ケーブルネットワーク株式会社

【課題提出者】 射水市(模擬避難所提供、受付、避難者)

※避難者は、避難所開設担当職員を基本に50名程度

【デジポック事務局】 県(知事政策局デジタル戦略課、危機管理局防災・危機管理課)、
北陸銀行・Relic 共同企業体

※当日、県内自治体が視察予定